

# 調査団報告書

調査No.62

## 調査内容

江戸時代の名古屋のわらべうたを知りたい。遊び方の図や絵も見たい。

## 調査手順

まずは、わらべうたの本を見てみよう。『尾張わらべうた』（河原嘉助／著 泰文堂 1981）や『日本わらべ歌全集 12 愛知のわらべ歌（服部勇次）』（柳原書店 1981）を見ると、参考文献に『尾張童遊集』（小寺玉晁・天保二年 1831）がある。この本、いったいどんな本？

## 調査結果

江戸時代、<sup>こでらぎよくちよう</sup>小寺玉晁が子どもの遊びをもらさず記録しようとしたのが、『尾張童遊集』。玉晁直筆の原稿は行方知れず。けれど、玉晁の親友<sup>ほそこのようざい</sup>細野要齋が文と絵を写した本が残されていて、現在見られるのはこの本をもとにしたものだ。鬼ごっこやじゃんけんで遊ぶ様子など、挿絵がいっぱい。てあそびを図で説明しているところもある。わらべうたを遊びとしてとらえていて、歌詞だけでなく遊び方の説明もついているよ。

## 今回の調査で使った資料

『児戯尾張三河童遊集 [1] 児戯』小寺玉晁／[著] 未央社 1977

（明治9年 細野要齋写本の複製）（『尾張童遊集』の複製）

『児戯尾張三河童遊集 [2] 尾張童遊集』小寺玉晁／[著] 未央社 1977

（復刻 底本：昭和9年 名古屋温故会）（『尾張童遊集』の翻刻）

『尾張童遊集』小寺玉晁／著 名古屋温故会 1934（『尾張童遊集』の翻刻）

『日本わらべ歌全集 27（近世童謡童遊集）』柳原書店 1991（『尾張童遊集』の翻刻）

『名古屋叢書三編 第8巻』名古屋市蓬左文庫／編 名古屋市教育委員会 1982（『尾張童遊集』の翻刻）

『日本歌謡研究資料集成 第8巻（近世編）』勉誠社 1978（『尾張童遊集』の影印）

作成：名古屋市図書館 名古屋なんでも調査団

